

麻しん・風しん疑いの患者については、保健所で遺伝子検査を実施いたしますので、以下についてご協力をお願いします。

夜間・休日など、すぐに保健所に連絡がつかない状況であっても、外来において疑い患者を確認した場合、本資料を参考に、できる限り検体の採取にご協力いただきますようお願いいたします。

1 診察→保健所へ連絡



患者が以下の症状を呈しており、麻しん・風疹を疑う場合、抗体検査の結果は待たず、疑いの段階で保健所にご連絡をお願いします。

麻しんを疑う症状

- ✓ 麻しんに特徴的な発疹
- ✓ 発熱（一般的に37.5℃以上）
- ✓ 咳嗽、鼻汁、結膜充血などのカタル症状

風しんを疑う症状

- ✓ 全身性の小紅斑や紅色丘疹
- ✓ 発熱（一般的に37.5℃以上）
- ✓ リンパ節腫脹

→3つすべての症状を満たさなくとも、発生地域の滞在歴があるなど、診察した先生が特に疑う場合も遺伝子検査を実施しておりますので、まずはご相談ください。

2 検体採取

可能な限り以下①～③の3点すべて、最低2点の採取にご協力をお願いします。採取した検体は、保健所職員が回収に伺います。

① 全血
(2～5ml)



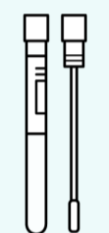
EDTA(又はクエン酸)添加の採血管使用(ヘパリンは不可)

② 尿(5ml)



漏れないように密閉可能な容器(スピッツなど)に保存

③ 咽頭ぬぐい液



1. 乾燥防止のため1～2ml程度の生理食塩水又はウイルス保存液(ハンクス液)に浸す。
2. 滅菌綿棒で咽頭を拭いた後、スピッツに入れ、採った綿棒の先を1で入れた生理食塩水又はウイルス保存液(ハンクス液)に浸す。
3. 綿棒の余った柄の部分はカットし、蓋を閉める。

→保健所の遺伝子検査以外に、貴院においてできる限り抗体検査の実施をお願いします。

→保健所職員が回収するまで、3検体すべて4℃で保存をお願いします。

→滅菌綿棒、ハンクス液、スピッツ、尿カップが無い場合は保健所にお伝えください。

3 検査票の準備



検体と一緒に「別記様式 検査票(病原体)」も回収しますのでご準備をお願いします。以下の小樽市ホームページよりダウンロードをお願いします。

小樽市HP「感染症に基づく検体等の提出について」(医療機関の皆様へ)
URL: <https://www.city.otaru.lg.jp/docs/2026013000033/>

5 保健所に発生届を提出



○診断後24時間以内を目途に、発生届の提出をお願いします。(疑いであっても提出が必要です)

○発生届は「感染症サーベイランスシステム」より届出をお願いします。システムの利用登録をされていない場合、届出様式を以下の厚生労働省ホームページよりダウンロードし、保健所にご提出願います。

厚生労働省ホームページ「感染症法に基づく医師の届出のお願い」
URL: https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/kekkaku-kansenshou11/01.html

4 患者への説明と確認



感染拡大防止の観点から、疑い患者に対しては以下の5点について、ご説明とご確認をお願いします。

- ① 公共交通機関の利用は控えること
- ② 検査結果が判明するまで、自宅療養(外出自粛)いただくこと
- ③ 検査が陽性だった場合、保健所から行動調査の連絡があること
- ④ 患者の連絡先の確認
- ⑤ 麻しん風しん罹患歴、MRワクチン接種歴の確認



感染対策について

検査結果が陽性だった場合、院内感染防止のため、以下ガイドラインに基づく対応を依頼しておりますので、国立健康危機管理研究機構(JIHS)のホームページにおいて、ご確認をお願いします。

国立健康危機管理研究機構(JIHS) 麻しん関連のページ
URL: <https://id-info.jihs.go.jp/manuals/guidelines/measles/index.html>
国立健康危機管理研究機構(JIHS) 風しん関連のページ
URL: <https://id-info.jihs.go.jp/manuals/guidelines/rubella/index.html>

連絡先

小樽市保健所 健康増進課 感染症担当
平日 0134-22-3110
土日祝・夜間 0134-22-3117
(土日祝・夜間は警備会社につながり、担当者が折り返します)

FAX: 0134-22-1469
メール: kansensyo@city.otaru.lg.jp